

CASBEE-建築(新築)2014年版
 新築建築工業株式会社京都工場 新築工事(B棟)

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.4
Q1 室内環境				0.30				3.2
1 音環境				3.0		0.15		3.0
1.1 騒音				-		-		-
1.2 遮音				3.0		1.00		-
1 開口部遮音性能				3.0		0.60		-
2 界壁遮音性能				3.0		0.40		-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-		-		-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-		-		-
1.3 吸音				-		-		-
2 温熱環境				3.0		0.35		3.0
2.1 室温制御				3.0		1.00		-
1 室温				-		-		-
2 外皮性能				3.0		1.00		-
3 ゾーン別制御性				-		-		-
2.2 湿度制御				-		-		-
2.3 空調方式				-		-		-
3 光・視環境				3.0		0.25		3.0
3.1 昼光利用				3.0		0.43		-
1 昼光率				-		-		-
2 方位別開口				-		-		-
3 昼光利用設備				3.0		1.00		-
3.2 グレア対策				-		-		-
1 昼光制御				-		-		-
3.3 照度				3.0		0.21		-
3.4 照明制御				3.0		0.36		-
4 空気質環境				3.9		0.25		3.9
4.1 発生源対策				4.0		0.50		-
1 化学汚染物質		内装材はほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用		4.0		1.00		-
4.2 換気				3.0		0.30		-
1 換気量				3.0		0.50		-
2 自然換気性能				-		-		-
3 取り入れ外気への配慮				3.0		0.50		-
4.3 運用管理				5.0		0.20		-
1 CO ₂ の監視				-		-		-
2 喫煙の制御		全館禁煙		5.0		1.00		-
Q2 サービス性能				0.30				3.2
1 機能性				2.7		0.40		2.7
1.1 機能性・使いやすさ				3.0		0.57		-
1 広さ・収納性				-		-		-
2 高度情報通信設備対応				-		-		-
3 バリアフリー計画				3.0		1.00		-
1.2 心理性・快適性				-		-		-
1 広さ感・景観				-		-		-
2 リフレッシュスペース				-		-		-
3 内装計画				-		-		-
1.3 維持管理				2.5		0.43		-
1 維持管理に配慮した設計				3.0		0.50		-
2 維持管理用機能の確保				2.0		0.50		-
2 耐用性・信頼性				3.0		0.30		3.0
2.1 耐震・免震				3.0		0.50		-
1 耐震性				3.0		0.80		-
2 免震・制振性能				3.0		0.20		-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4		0.30		-
1 躯体材料の耐用年数				3.0		0.20		-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		アクリル系吹付タイル		5.0		0.20		-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0		0.10		-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0		0.10		-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0		0.20		-
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0		0.20		-

2.4 信頼性			2.6	0.20			
1	空調・換気設備		3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20			
3	電気設備		3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備		2.0	0.20			
3 対応性・更新性			4.2	0.30			4.2
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30			
1	階高のゆとり	階高=10.35m	5.0	0.60			
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.09	5.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり		積載加重=14710N/m ²	5.0	0.30			
3.3 設備の更新性			3.0	0.40			
1	空調配管の更新性		3.0	0.20			
2	給排水管の更新性		3.0	0.20			
3	電気配線の更新性		3.0	0.10			
4	通信配線の更新性		3.0	0.10			
5	設備機器の更新性		3.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40			1.3
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30			1.0
2 まちなみ・景観への配慮			1.0	0.40			1.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30			2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性							2.9
LR1 エネルギー				0.40			3.0
1 建物外皮の熱負荷抑制				-			-
2 自然エネルギー利用			-	-			-
3 設備システムの高効率化		BEIm 非住宅 -	-	-			-
集合住宅以外の評価(3a,3b)			-	-			-
集合住宅の評価(3c)			-	-			-
4 効率的運用			3.0	1.00			3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00			-
4.1	モニタリング		3.0	0.50			-
4.2	運用管理体制		3.0	0.50			-
集合住宅の評価			-	-			-
4.1	モニタリング		-	-			-
4.2	運用管理体制		-	-			-
LR2 資源・マテリアル				0.30			2.7
1 水資源保護			3.4	0.20			3.4
1.1	節水	自動水栓、節水型トイレの使用	4.0	0.40			-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60			-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70			-
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30			-
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.60			2.4
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.11			-
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22			-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22			-
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.22			-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-			-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.22			-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20			3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30			-
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70			-
1	消火剤		-	-			-
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50			-
3	冷媒		3.0	0.50			-
LR3 敷地外環境				0.30			2.9
1 地球温暖化への配慮			-	-			-
2 地域環境への配慮			2.9	0.50			2.9
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25			-
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50			-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25			-
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25			-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			-
3	交通負荷抑制		3.0	0.25			-
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25			-
3 周辺環境への配慮			3.0	0.50			3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			-
1	騒音		3.0	1.00			-
2	振動		-	-			-
3	悪臭		-	-			-
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40			-
1	風害の抑制		3.0	0.70			-
2	砂塵の抑制		3.0	-			-
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30			-
3.3 光害の抑制			3.0	0.20			-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に露れる光への対策		3.0	0.70			-
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			-